

西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】第26号

令和6年1月25日 文責：有内 弘

1月はいく 2月はにげる 3月はさる 充実の時間に

【学校教育目標】

「主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成」 ～可能性を力に～

新年が明けてやがて1ヶ月が過ぎようとしています。月日が経つのは早いもので、もうすぐ2月（如月）を迎えます。

1月はいく、2月はにげる、3月はさるという言葉があります。あっという間に時が過ぎゆくことを表す言葉です。だからこそ1日1日を充実したものにしていこうことが大事です。1日を振り返る時に、「今日はこれができた」とはっきり言える時は充実している証拠かもしれません。また明日は〇〇〇をしよう、がんばろうとはっきりしている時も充実していると言えるでしょう。どちらにしても1月から3月は学年のまとめと次の進級する学年への準備の期間となります。学ぶ心と感謝をもって、1日1日を過ごしていきたいものです。



大谷選手からのグロブが届きました。子どもたちはとってもうれしそうでした。まさに夢の贈り物です（写真は1年生） 全学級回覧

◆めざす子どもたちの学校での様子◆

【元気いっぱい】



3年生が体育の授業で縄跳びをしています。あや跳び、二重跳び、三重跳びなど子どもたちはどんどん上手になっていきます。

一月十五日の5時間目、よい天気に恵まれ元気に体育に取り組んでいます。

【温もりのある】



1年生から5年生の子どもたちがパンジーやサクラ草などの花苗をていねいに植えています。自分の花を育て、6年生に喜んでもらいたいという気持ちがいっぱい伝わってきます。

〈写真は2年生〉

一人一鉢運動を通して植物を大切にすることを育てると共に、6年生の卒業の門出を全校あげて花いっぱいめで祝います。

【誇れる十夢の実現】



4年生が音楽の授業でそれぞれの楽器の演奏の練習をしています。



5年生が国語の授業で百人一首をやっています。上の句から下の句へ

【書籍の紹介】ちょっと読んでみませんか！

題名「3週間続ければ一生が変わる2」

わたしはあなたが輝くお手伝いをしたいだけです。あなたが職場で最高の状態になる役に立ちたい。家庭でしあわせを見つける役に立ちたい。成功する役に立ちたい。最高の自分をつくる101の英知

著者 ロビン・シャーマ 発行所 株式会社扶桑社